



ウォーキングフットボール普及戦略

2025年4月7日(月)

Japan Football Association

47FA・加盟団体・普及推進部 普及推進グループ



目次

Agenda

1. 普及の目的
2. 普及推進の方針(ヒトづくり、と、場づくりの両輪)
3. 支えるヒトづくり
 - └ チューター養成
 - └ コーディネーター養成
4. 場づくり
 - └ 日常の場、と、大会・フェスティバル
 - └ JFAウォーキングひろばの全国展開
5. 数値目標
6. プロモーション
7. 各団体(JFA、連盟(JWFL)、47FA)の役割分担の整理
8. 今後のスケジュール/ロードマップ

1. ウォーキングフットボール普及の目的

JFAの「理念」と「ビジョン」に基づき、障がい・年齢・性別によらず、誰もが共にプレーができるウォーキングフットボールの普及を通して、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

JFAの理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を想像し、
人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

JFAのビジョン

サッカーの普及に努め、スポーツをより身近にすることで。
人々が幸せになれる環境を作り上げる。

サッカーの強化に努め、日本代表が世界で活躍することで、
人々に勇気と希望と感動を与える
常にフェアプレーの精神を持ち、国内の、
さらには世界の人々と友好を深め、国際社会に貢献する

期待される効果

1. 地域社会への貢献と健康増進

高齢化社会に対応し、ウォーキングフットボールを通じて地域住民の健康維持と生きがいづくりを支援

2. 新しいサッカーファン/プレーヤー層の拡大

初心者や幅広い世代にサッカー文化を広め、新たなファン/プレーヤー層を獲得

3. JFAブランドの社会的信頼の向上

JFAの名を冠して健康促進と地域交流の場を提供し、地域社会との信頼関係を強化

4. 情報の集約（データ活用による戦略的普及）

イベント情報や参加者データを集約し、それを基に効果測定や改善策を立案

ターゲット

★優先ターゲット：サッカーをやっていない人、やらなくなった人、やれなくなった人

1. 高齢者層（60歳以上）

└日本の高齢化社会において、健康寿命の延伸と社会参加の場が重要視されている。

2. 40～60歳の中年層

└家庭や仕事にゆとりができ、新しい趣味や健康維持を始めたい層。

3. 女性

└女性のスポーツ参加促進が政府や自治体の施策として推進されており、ジェンダー平等の観点からも重要。

★サブターゲット

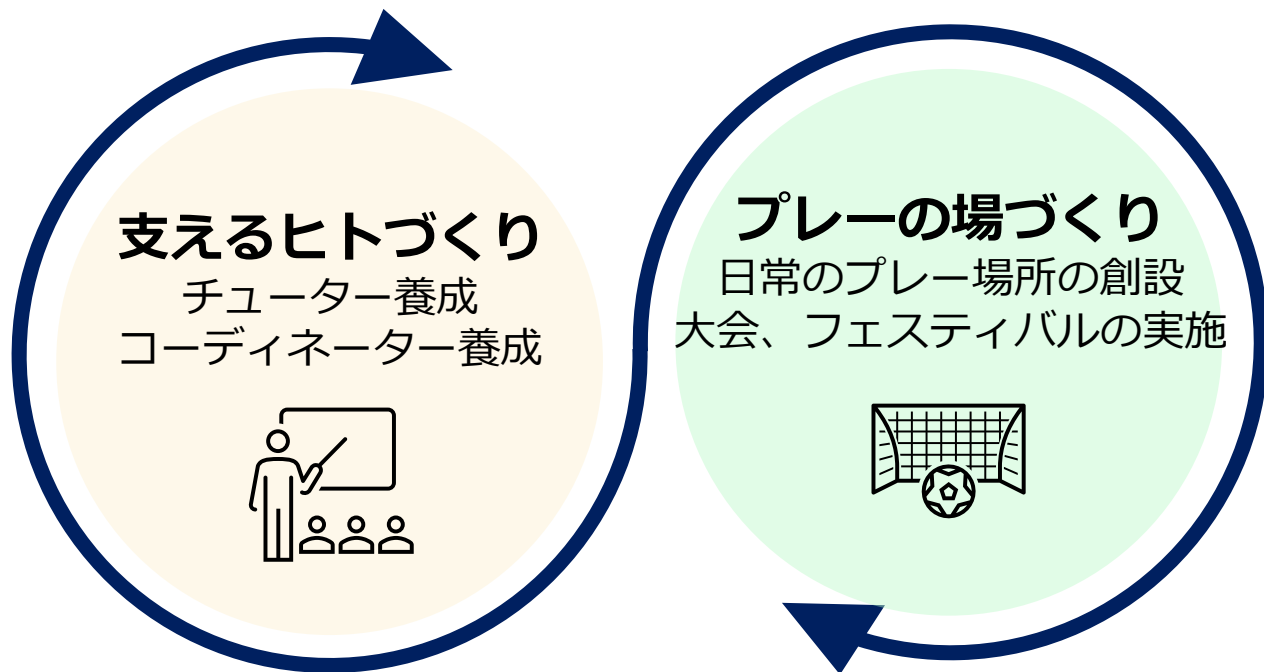
・フットサル・サッカー経験者（20～40歳）

└若い世代の運動不足対策や、競技者からのリクルートによる認知度向上が期待できる。

現在のJFAの登録者と重複しない、新たなプレーヤー層を獲得

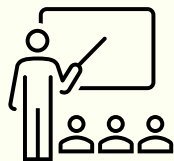
2. 普及推進の方針

「支えるヒトづくり」と「プレーの場づくり」を両輪で行っていく



3. 支えるヒトづくり

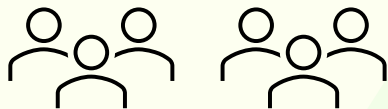
チューター制度の導入、規則の策定



チューター

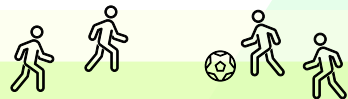
新設

- ・「コーディネーター講習会」の講師を担当できる
- ※現在は1名のみ。



コーディネーター

- ・ウォーキングフットボールのイベント開催や指導ができる
- ・試合でピッチマネージャーとして試合運営ができる
- ・**新設するJFAウォーキングひろばを開催できる(後述)**



プレーヤー

チューターの養成

コーディネーター講習会の増加

コーディネーターの増加

各地域での活動の増加

3. 支えるヒトづくり

【参考】コーディネーター講習会 修了者数

修了者数

※2022年11月～

2024年12月

※都道府県不明44名を含む

615名

長崎県	福岡県	島根県	鳥取県	京都府	福井県	石川県	新潟県	長野県	山梨県	静岡県	東京都
1名	11名	0名	0名	17名	1名	20名	16名	4名	26名	24名	101名
佐賀県	大分県	山口県	岡山県	兵庫県	滋賀県	富山県	山梨県	山梨県	群馬県	埼玉県	神奈川県
18名	1名	2名	2名	10名	2名	13名	5名	5名	5名	32名	43名
熊本県	宮崎県	広島県		大阪府		岐阜県					千葉県
1名	1名	16名		44名		2名					53名
鹿児島県		愛媛県	香川県	和歌山県	奈良県	愛知県					
19名		14名	1名	1名	4名	13名					
沖縄県		高知県	徳島県		三重県						
10名		1名	3名		4名						

3. 支えるヒトづくり

■チューター養成の流れ

今年度は**3名程度を養成**することで検証し、翌年以降の展開方法を考える。

- ・コーディネーター講習会修了者の中から候補者をピックアップ
- ・チューター候補者と共に講習会内容のブラッシュアップ（オンライン）
- ・実際の講習会でOJT

■費用

- ・チューター候補者の講習会会場までの旅費宿泊費をJFAで負担



4. プレーの場づくり

日 常

- ・JFAウォーキングひろば
- ・チーム活動

2025年は
ここに注力



大会・フェスティバル

- ・グラスルーツ向け大会
- ・国際ルール競技会



4. プレーの場づくり

「JFAウォーキングひろば」とは

- ・「ウォーキングひろば」とはウォーキングフットボールを楽しんでもらうための場の名称。
- ・場自体は2016年からJFAハウスで開始し、コロナ禍を経て夢フィールドでの再開。通算回数は64回。
- ・夢フィールドでの再開を機に名称を「ウォーキングひろば」に。
- ・夢フィールドでは月1回ペースで平日15時～17時に開催。平日の日中でどのくらいの参加があるか検証。毎回20～30名が参加。

「JFAウォーキングひろば」の権利付与、全国展開

新設

★施策概要

- ・ウォーキングフットボール講習会修了者に「JFAウォーキングひろば」の名称でイベントを開催する権利とロゴを使用したバナーを作成/使用する権利を付与。
全国で「JFAウォーキングひろば」を統一ブランドとしてイベント/体験会を実施。
(開催にあたっては団体登録と開催申請を必須とする)
- ・「なでしこひろば」の申請システムと同様のシステムを活用し、団体登録、開催申請を受け付ける。
各チームへの選手の登録、各イベントへの参加履歴の管理はJFA Passportの活用を想定。
- ・JFA.jpやJFA Passportに開催情報を掲載し、地域での拡がりを促進する。



■当面は選手登録ではなく、コーディネーター講習会・大会参加は**JFAID取得を必須**として増加させる

5. 数値目標

ウォーキングフットボール普及戦略 目標数値 (2025-2035)

場づくり	ウォーキングひろば 登録団体数	2024年 1団体 ※JFAのみ	➡	2035年 1,200団体
	ウォーキングひろば 年間参加者数 (述べ)	2024年 179人 ※夢フィールドで4回開催	➡	2035年 47,000人
人材 育成	コーディネーター 登録者数	2024年 615人	➡	2035年 6,000人
	チューター 登録者数	2024年 1人	➡	2035年 50人
日常的な ゲーム 環境	JFA主催 イベント数	2024年 4回	➡	2035年 10回

※KIRINファミリーチャレンジカップ、ペンギンズカップやシニアウォーキングフットボールカップなど規模の大きいイベント



6. 普及を加速するためのプロモーション施策

■メディア向け体験会の開催

メディアの方々にウォーキングフットボールを体験していただき、その魅力や価値を理解してもらい、今後の報道や露出に繋げる。

■初心者やコンセプト大会の実施

初心者向け体験イベントや、家族・友人が楽しめる大会を企画し、幅広い層の参加を促進する。
露出を求めるスポンサーの大会に積極的に協力し、スポンサー枠を最大限活用して競技の露出を拡大する。

例)キリンファミリーチャレンジカップetc

■日本代表OB/OGのイベント等での活用

日本代表OB/OGにイベント等に参画いただき、競技の認知度向上と参加者へのインパクト創出を目指す。

例)岡野雅行氏、宮間あや氏etc

■プレイ動画の作成及び広範囲チャンネルでの露出

プロモーション用のプレイ動画を制作し、SNS、テレビ、YouTubeなど多様な媒体で発信する。
健康効果等のデータを収集・公開し、魅力を数値で示す。

■自治体や企業イベントへのプロモーション

自治体や企業の健康促進イベントにウォーキングフットボールを提案し、地域や職場単位での普及を推進する。

7. JFA、連盟(JWFL)、47FAの役割分担の整理

※JWFL = 日本ウォーキングフットボール連盟

JFAの役割

- (1) JFA推奨ルール of 制定
- (2) コーディネーター of 養成
(チューター of 設置、コーディネーター of 養成)
- (3) 登録者の管理 (将来的に)
- (4) プレー人口増加施策
 - ① 世界ルール大会 of 実施
 - ② 普及大会 of 開催 (夢 F でのペンギンズカップ of 大会)
 - ③ プレー場所 of 創出 (JFAウォーキングひろば)

JWFLの役割

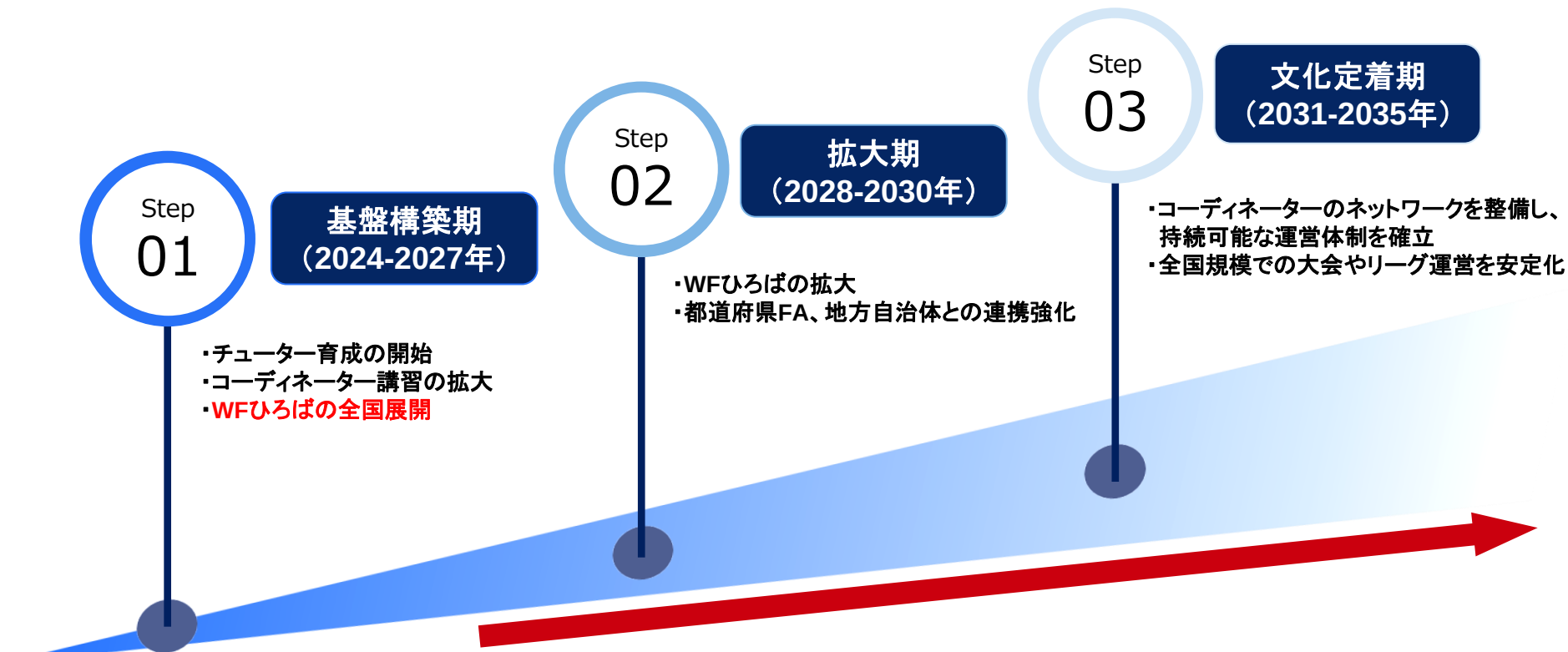
大会 of 実施 (各地域 with ペンギンズカップ など開催)

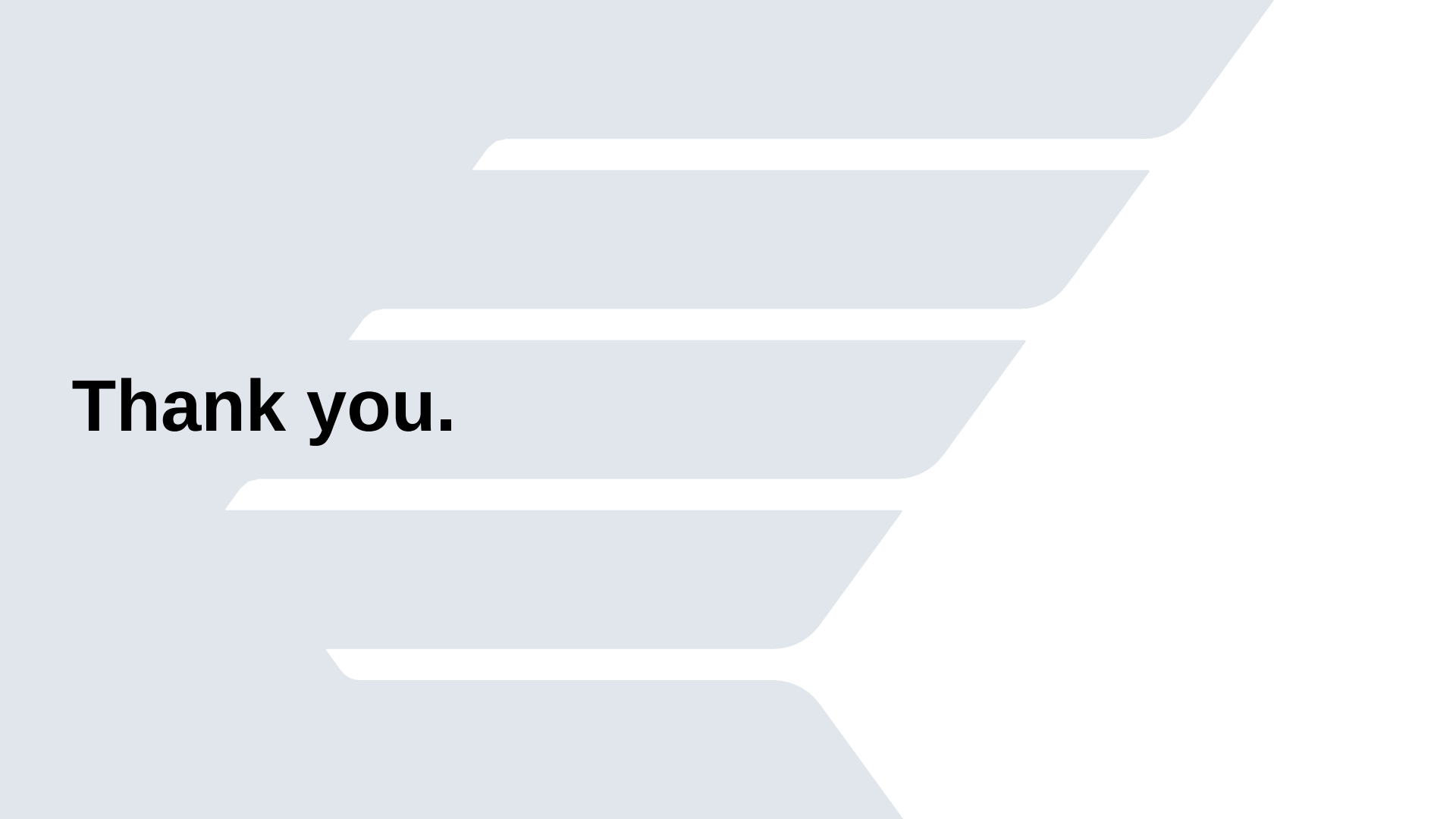
連携強化

47FAとの関係・連携

- ・ WF of 普及を希望されるFAには、任意で各FA with 窓口担当者を決めていただく
- ・ 各都道府県 of 団体 (市区町村サッカー協会 など) から of コーディネーター講習会 of 開催依頼は、原則FA of 窓口を通していただく方向で調整をする

8. 今後のスケジュール/ロードマップ





Thank you.